

福井県議会議員

しみず とものぶ



清水智信 NEWS-06

誇れる郷土に 情熱を



清水智信事務所:〒910-0837 福井市高柳3丁目2801
TEL.0776-52-2630 FAX.0776-52-2021 E-mail:tomonobu0628@movie.ocn.ne.jp

予算決算特別委員会

2018年9月11日

福井版健康長寿の取り組み、シヨッピングセンターや商店街を活用したモールウォーキングの導入にぎわいづくりとスポーツに関する組織体制、ふくいそばのブランド化、障がい者雇用、コンベンション誘致のための助成金について

2018年12月14日

国体のレガシー、スポーツツーリズムの推進体制、新しいふくいの農業基本計画、ふくいそばの日本一のブランド化、人口減少問題について

2019年3月4日

スポーツ・文化局、ヘルスケアビジネス、eスポーツについて

2019年7月18日

交流文化部、スポーツコミッション設立、観光、北陸3県が連携したインバウンドの取り組み、ふくいそばのトップブランド化、自転車活用推進計画について

成果

スポーツを担当する所管が**交流文化部**に移り、県、市町、スポーツ団体、企業等が一体となってスポーツツーリズムを推進する**地域スポーツコミッション**の設立が決定しました!

成果

福井市議と連携し、**安全で安心な地域社会づくり事業**をつくりました!防犯カメラ等を活用することで見守り体制を強化し、**犯罪の起こりにくい安全で安心な地域社会づくり**を推進します!

成果

ふくいそばを**日本一のブランド化**、そば処にするために、**農林水産部、ブランド課**が連携して「ふくいそば」**ブランド確立事業**ができました!

新「スポーツによる交流人口拡大事業」 交流文化部について提言

県、交流文化部新設へ

機構改革 地域戦略部も

福井新聞(2019年5月8日付)

交流文化部について提言

新設の交流文化部は、観光営業部を廃止し、交流文化部を新設。観光営業部を廃止し、地域戦略部を新設。観光営業部を廃止し、地域戦略部を新設。観光営業部を廃止し、地域戦略部を新設。

智信コメント

スポーツを担当する所管を教育委員会から知事部局に移すべきと以前から言ってきましたが、今回の県の機構改革で新しくできた交流文化部に所管が移りました。私は、観光文化スポーツ局にすべきと前回の議会でも言わせてもらいましたが、今回の交流文化部は観光分野の事務全般も所管するので良かったです。また今回、スポーツコミッションも設立し、初めてスポーツツーリズムなどの文言も出てきたので、福井の自然をしっかりと観光資源にできるように頑張ります!



●清水智信…現状の福井県では、国体のレガシーをしっかりと残さないといけない。国体で施設整備をたくさん行ったので、施設を活用してキャンプ合宿誘致をこれだけ増やそうとか、新幹線開業も4年後に控えており、福井県の自然を活かしてアクティビティを創出して、これだけ交流人口を拡大していこうなど、他にもフルマラソンの開催やプロスポーツチームを誕生させて、地方創生をするというような目標が必要だと思つ。本県の強みを活かしたスポーツツーリズムを進めるためにも、具体的な目標を設定して進めていくべきだと考えるが、所見を伺う。

●交流文化部長…スポーツコミッションの目標は、最終的には交流人口をいかに拡大していくかということだと考えている。そのため、こういったスポーツ大会を誘致していくのが、あるいは佐賀県のようなキャンプ合宿誘致などもあると思う。今年、十分に議論させていただき目標を定めていきたいと思います。

●清水智信…文化の場合について、ポップカルチャー、インバウンドの外国人も興味がある漫画、アニメなどのサブカルチャーも、せっかく交流文化部になるので、メインカルチャーのみならず、サブカルチャー、先日開催されたワンパークフェスティバルのようなポップカルチャーなどにも対応できるように柔軟な組織にしていくべきと考えるが、所見を伺う。

●交流文化部長…交流を進めていく上で強いコンテンツになるといふことは、私も同じ思いである。既に、県の方では文化団体の支援の対象をサブカルチャー、ポップカルチャーまで広げており、今年度、既に1団体申請があり、補助をする予定である。まだ、十分

に周知されていないところもあると思うので、このような補助制度がサブカルチャーやポップカルチャーが好きな方々にも十分に知っていただくことも大事だと考えている。また、資金面だけではなく、継続的に使用できる練習場所の確保、継続的に支援していただける活動支援団体とのマッチング等もサブカルチャー、ポップカルチャーの方々を支えていく上で大事だと認識しているので、そういった面でも活動していきたいと思つ。

新しい農業基本計画について提言

全農家の活躍推進

県が新農業計画原案

所得最大化、生きがい醸成

福井新聞(2019年1月22日付)

智信コメント

議会ですつと蕎麦のブランド化を提言してきましたが、今回の新農業基本計画(案)に福井の農産物のトップブランド化に米と一緒に蕎麦も追加され、又6月補正予算で「ふくいそば」ブランド確立事業ができました!



新「ふくいそば」ブランド確立事業

「ふくいそば」のトップブランド化について提言

●清水智信…ふくいそばの評価は風味、香りともに日本一であり、また品種改良は行わず、多様な在来種を守り続けてきた福井独自の歴史もあり、それらを活かし福井県のそばは日本一であり、福井は日本一のそば処であり、そばをトップブランド化にすべきとこれ

まで提言し、今回、新たな農業基本計画では、そばを日本一のブランドに育成、福井を日本一のそば処に定着させると書かれ、今回の補正予算でも、ふくいそばブランド確立事業ができた。そこで、ふくいそばを日本一のブランド化にする、そば処にするということであれば農林水産部だけでなく、ブランド課等とも連携してふくいそばを日本一のブランドにすべきと考えるが、所見を伺う。



●杉本知事・福井のそばは、それぞれの地域の在来種の品種が特徴的でそれぞれに味や香りが異なる。これまでも、全国素人そば打ち名人大会や新そばまつりを開催させていただいた。このようなことは新しくさらに広げていかなければならない。例えば、東京で1週間、福井のそばの食べ方も含めて宣伝をしていく、観光連盟も一緒にやって県内のそばの産地を巡る、各々の在来種の特徴を味わうようなツアーを作っていく等。やはり、農林水産部だけでなく他の部も一緒に進めていく必要がある。

民間の皆さんも福井のそばを発信したいと言っていた。福井と一緒になって応援し、福井といえは「そば」と言われるようにブランド化を図っていききたいと考えている。

観光について提言

●清水智信・北陸新幹線開業に合わせて一乗谷朝倉氏遺跡をどうしていくか、ここがポイントだと思ふ。魅力の掘り起こしを行い、満足度を高めていく必要がある。そこに行つて中世・戦国時代のいろいろな体験ができれば、もつと魅力が向上するのではないかと。例えば、観光客が朝倉氏遺跡に行けば、茶道・和歌・弓道体験、また、着付けや鎧を着る、これらはイベントだけではなくて常時できるようにしなければ、もつと魅力が高まるのではないかと。せひ、福井県と福井市と朝倉氏遺跡が連携し、朝倉氏遺跡の体験型メニューの掘り起こしをしていくべきと考えるが、所見を伺う。

●交流文化部長・現在、福井県・福井市・保存協会・観光連盟などで構成する協議会が町並み、暮らしを再現するようなイベントを実施している。戦国時代を体験できるプログラムを充実させて、訪れた方に満足していただけるような施設にしていきたいと思ふ。



VRを視察(佐賀県三重津海軍所跡にて)

●清水智信・県立朝倉氏遺跡博物館(仮称)でVRの最新技術を活用して、ぜひとも魅力ある博物館にしてもらいたいと思ふ。観光は、一つのポイントで楽しいとかワクワクすることがあるのが大事だと思ふ。魅力の見える化は、

インバウンドについて提言

アイデアや努力、そして最新技術を使えばできるのではないかと。例えば、唐門に入つてVRを付けると当時の朝倉の館が再現されていたらすごくおもしろい。入口に町家の遺跡があるが、そこもVRを付けると当時の町家が再現されていたら魅力、満足度が上がると思ふ。ぜひとも満足度の高い博物館にしていくためにVR等を活用した博物館にすべきと考えるが、所見を伺う。

●交流文化部長・近年、VR技術も日進月歩であるが、ぜひとも新しい技術を福井市とともに研究し、新博物館開館に向けて導入を検討していきたいと思ふ。



新『若年遊漁者増加対策・内水面漁場調査事業』

智信コメント

鮎釣りに若者が参加しやすい漁場を整備することにより、新規遊漁者の増加を図ります。これまでも、例えば九頭竜川で観光客が気軽に鮎釣り体験ができるか、と、中部漁協さんをお願いしてきました。今回、6月の補正予算で、若年遊漁者増加対策・内水面漁場調査事業を作つていただき、来年からは観光客向けの鮎釣り体験も考えてまいります。

●清水智信・北陸新幹線開業を控え、インバウンド誘客の強化も進めていかなければならない。県単独で進めることもあれば、やはり他県とも連携して取り組むことも大事だと思ふ。北陸3県が今まで以上に連携し、北陸3県で協力したインバウンド誘客をもつと推し進めるべきと考えるが、所見を伺う。

インバウンドについて提言

●清水智信・インバウンドは福井県がこれから力を入れていかなければいけない分野である。京都は公家の文化、北陸は武家の文化。そういう意味では少しの時間、距離の中で公家の文化から武家の文化に変わっていく。このところの変化は非常にインバウンドにおいては魅力的である。また、北陸3県の伝統産業を結びつこともあると思ふ。北陸全体であれば、世界に訴求できる魅力もたくさん出てくると思ふので、そついったことを3県でできるように、富山の石井知事、石川の谷本知事との人間関係も活かしながら、これから北陸3県連携、インバウンドをさせていきたいと思ふ。

●杉本知事・インバウンドは福井県がこれから力を入れていかなければいけない分野である。京都は公家の文化、北陸は武家の文化。そういう意味では少しの時間、距離の中で公家の文化から武家の文化に変わっていく。このところの変化は非常にインバウンドにおいては魅力的である。また、北陸3県の伝統産業を結びつこともあると思ふ。北陸全体であれば、世界に訴求できる魅力もたくさん出てくると思ふので、そついったことを3県でできるように、富山の石井知事、石川の谷本知事との人間関係も活かしながら、これから北陸3県連携、インバウンドをさせていきたいと思ふ。

2018年のインバウンド延べ宿泊者数は北陸地方で約130万人で日本全体の約3%しかありません。福井県が単独で増やしていくことはもちろん重要ですが、北陸3県がしっかりと連携して、北陸3県で協力したインバウンド誘客を推し進めるために尽力していきたいと思ふ。

智信コメント

2018年のインバウンド延べ宿泊者数は北陸地方で約130万人で日本全体の約3%しかありません。福井県が単独で増やしていくことはもちろん重要ですが、北陸3県がしっかりと連携して、北陸3県で協力したインバウンド誘客を推し進めるために尽力していきたいと思ふ。

●清水智信・自転車推進計画について提言

ついて、例えば、福井市、永平寺のサイクリングロードがある。愛媛県でもサイクリングロードを作つたり、富山県ではブルーラインを引いて自転車道を整備したり、和歌山県ではサイクリング王国和歌山ということでも800kmブルーラインを引いていたりしている。福井県もぜひ、自転車を使つていただきたいと思ふが、状況を伺う。

●地域戦略部長・今年度策定を予定している自転車活用推進計画について、自転車通勤の推進、こういった観点もあろうかと思ふ。その他、ご指摘いただいたサイクリングコースやイベントなどでサイクルツーリズムを進める。その中で、ご指摘いただいたような路面標示、自転車を安全に利用しやすいハード面の環境整備も重要であり、保険の加入等も重要な観点だと思つている。今程申し上げた観点をに入れて、具体的な方針を作つていきたいと思ふ。策定にあつては、自転車団体、道路管理者、市町、観光団体と検討会を作つていろいろご意見をいただきながら、具体的な方策を決めてまいりたいと思ふ。

●清水智信・スニーカーを推進し、福井県でも健康福祉部、産業労働部が連携し、商店街やショッピングセンターを活用したウォーキングマップやアプリを作成し、

新『健康づくり推進プロジェクト』

ショッピングセンターや商店街を活用したウォーキングの導入について提言

●清水智信・スニーカーを推進し、福井県でも健康福祉部、産業労働部が連携し、商店街やショッピングセンターを活用したウォーキングマップやアプリを作成し、

●健康福祉部長・ご紹介のあったようなマップの作成について産業労働部とも連携して、あるいはショッピングセンターや商店街とも協力しながら検討していきたい。

●清水智信・スニーカーを推進し、福井県でも健康福祉部、産業労働部が連携し、商店街やショッピングセンターを活用したウォーキングマップやアプリを作成し、

エルパで導入の見通しとなりました！今後はベルやアミ、商店街などでも導入され、ショッピングセンターや商店街が買物をするだけの場所ではなく、真の意味で地域の拠点になってほしいと思ふ。

エルパで導入予定!



皆さま、いつもあたたかいご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後共、愛する故郷「福井」の為に、全身全霊で頑張つてまいりますので、今後も変わらぬご支援を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。尚、新着情報等は下記フェイスブックや本通信の活動報告等に掲載してまいります。ご意見やご要望は、下記までお気軽にご連絡下さい。

●FAX:0776-52-2021
●E-mail: tomonobu0628@movie.ocn.ne.jp

清水智信 Facebook

